

新宮山彦ぐるーぶ第2324回

釈迦ヶ岳登山道のハシゴ延長など

◇実施日 9月28日(土)

曇り

◇参加者 梶野照雄、湯川一郎

2名

釈迦ヶ岳中間登山道のハシゴ延長と太尾登山道のアルミハシゴを延長、同時に倒木の切除を行った。今回は湯川君が助っ人に来てくれたので、スムーズに作業することができた。



間伐を知らせる看板

資材を運ぶ

ハシゴの組み立て

午前9時半過ぎに不動木屋谷の登山口を通過する。入口に以前にはなかった看板が設置されていたので、バックして見に行った。間伐作業のお知らせで、12月まで続くらしい。通行止めとは書かれていないので登山道から離れた場所で行われるようだ。

中間登山道の登山口に着き、ハシゴの材木や工具を降ろして少し先の路肩に車を停める。湯川君は太尾登山口から西へ続く林道から1261mの三角点を往復してくる、と連絡があったのでまだ降りてきていないようだ。



ロープを張り替える

完成

柴田行者に出会う

材料を担いでハシゴの現場に向かう。距離が短いので苦労せずに到着。組み立て準備をしていると、湯川君が登ってきた。ハシゴを組立て設置済みのハシゴに連結する。上のハシゴが少し傾いているので、上下で傾斜角が異なっているが、あまり問題にはならない。下のハシゴの足に鉄筋を打ち込みズレないようにした。

13日の作業でシャックルがなく、番線で留めていたチェーンをシャックルで固定、岩に三ヶ所打ったアンカーにもシャックルを取り付け、ロープを張り直して手すり代わりにした。2、3度上り下りし、ぐらつきが無いかを確かめて作業終了、林道に戻った。太尾登山口に到着して車を停める。午前11時なので、朝早い人は下

山している時間だ。車も数台駐車できるスペースが空いていた。小雨が降ってきたので止むのを待っていると、熊野修験の柴田行者がやってきた。少し下に駐車して歩いたようだ。今日は深仙宿で夜通しの行をするそうだ。話をしている間に雨は止み、下山後に昼食を摂ることにして登りだす。



倒木処理

10分ほどで倒木処理の現場に着いた。根元直径は60cm、長さは7mほどあり、ほぼ腐っている。4か所を切って移動できる大きさにした。約10分で処理を終える。

倒木処理現場から約10分、最初のアルミハシゴに着いた。持ってきたハシゴを合わせてみると、露出した木の根が邪魔をしてハシゴの足が地面に届かない。チェーンソーは必要がないと思って倒木処理現場に置いてきた。「僕、取ってきます」と湯川君が取りに行ってくれた。湯川君が戻ってくるまでに宙吊りになっていた支柱パイプを外し、根を切りやすいように土や石を除去した。チェーンソーが

あると根を切るのはあつという間で、ハシゴは土に届くようになつたが岩の上に乗ってしまい固定が難しい。少し上にずらすと土の部分になりパイプを打ち込んで固定できそうだ。しかし重ねて繋ぐことは想定していなかったため、苦肉の策で両側のハシゴに穴を開けて6mmのボルト4本で固定した。アルミ同士をボルトで固定しただけなので強度に不安があるが、今日はこれだけしかできない。接続部分の両側にくい丸を打ち込んで番線で締め、力がかからない工夫をした。今後の状況見て再工事も考えたい。



ハシゴを連結

くい丸で補強

本日の参加者

ハシゴ延長作業を終えて登山口に戻った。駐車した車の後ろで昼食を摂る。食事を終えた頃に一人の女性が話しかけてきた。15日の行事に参加していただいたフォトクラブ大峰の高見恭子さんだった。11月の写真展にはお邪魔することと、またの参加をお待ちしている旨を伝えて下山した。

(記：梶野)

行動タイム

09:37 不動木屋谷登山口↓09:43 中間登山口↓09:55 ハシゴ延長
10:49↓10:52 林道↓11:00 太尾登山口 11:10↓11:20 倒木処理
11:31↓11:39 アルミハシゴ延長 12:43↓12:57 太尾登山口 13:
46